

第2回 苅田町財政健全化検討会議

抽出自治体間の分野別指標の比較

平成28年12月8日(木)13:30～16:00

1 分野の考え方

行政サービス検討の考え方

- ❖ 行政サービスの検討にあたっては、他の自治体との比較を行うことによって、荻田町の行政サービスの水準や特徴を明らかにする。
- ❖ 他の自治体との比較の方法では、市町村の総合計画の項目（行財政を除く）にあわせて、比較可能なアウトプット、アウトカムにつながる指標を検討する。
- ❖ 指標化にあたっては、人口あたり／職員あたり など横並びで比較可能な指標をつくる。
- ❖ 市民目線からみてわかりやすい政策比較も検討するため、利用料・手数料・保険料など、料金に関わる部分の比較も行う。

検討の進め方

- ❖ 今回は、前述した抽出自治体について、各分野の取得可能な主だった指標を提示する。
 - ◆ 情報の収集しやすさ、比較する基準の揃えやすさなどから、現時点では分野ごとに情報量に偏りがあることは、ご留意いただきたい。
 - ◆ 公表資料では市町村単位まで把握困難な指標も多いため、データ取得の方法についても検討の必要がある。
- ❖ 主に全国的な統計調査や県の既存資料、各市町村ホームページにおける公表情報をもとに作成した。
- ❖ 今回の検討においては、以下の3点についてご意見を頂いた上で追加作業を行い、第3回以降の検討会議において、順次情報提供をしていきたい。
 - ① 追加を検討すべき分野がないか
 - ② 比較検討すべき指標項目はないか
 - ③ その他、苅田町の特徴を検討するうえで整理すべき情報はないか

2 分野別指標の比較

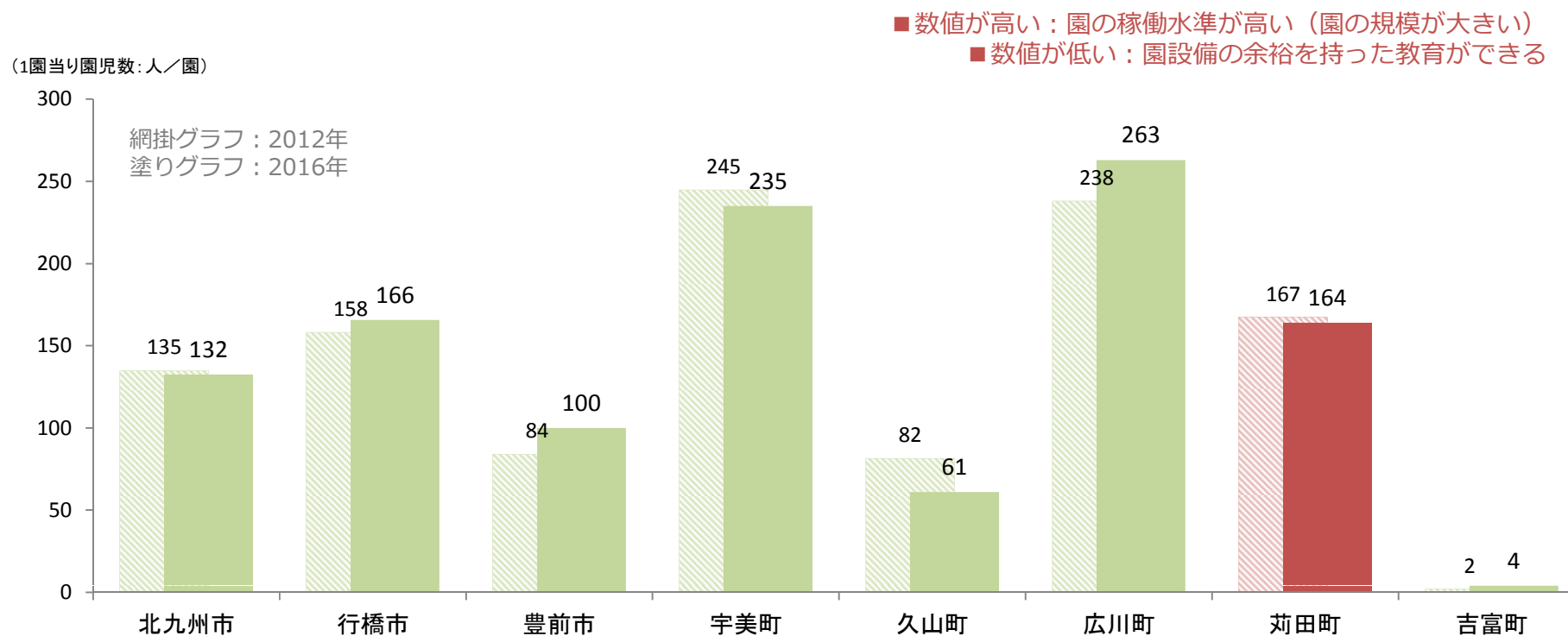
対象分野 及び 現状でのデータ項目 一覧

分野	データ項目
(1) 教育	①幼稚園（園当り児童数、教員当り児童数、定員充足度） ②小学校（学級当り児童数、教員・職員当り児童数） ③中学校（学級当り児童数、教員・職員当り児童数） ④高校・専門学校・大学 ⑤給食事業
(2) 生涯学習・スポーツ	①公民館（人口当り公民館） ②図書館（人口当り図書館、貸出数） ③社会体育施設（人口当り施設数）
(3) 産業振興	①企業誘致制度
(4) 子育て	①保育所（施設当り在所者数、定員充足度、保育料） ②子ども医療費 ③子育て支援等制度
(5) 高齢者福祉	①介護保険施設
(6) 医療	—
(7) 消防	①消防署数
(8) 生活基盤	①コミュニティバス（料金） ②ごみ（ごみ袋料金）

(1)教育 ①幼稚園 幼稚園当り園児数

- ❖ 苅田町は、8団体中4番目と中水準に位置する
- ❖ 吉富町では、1園に対して園児数がごく少ないため低位に位置している

1園当り園児数（2012年/2016年）

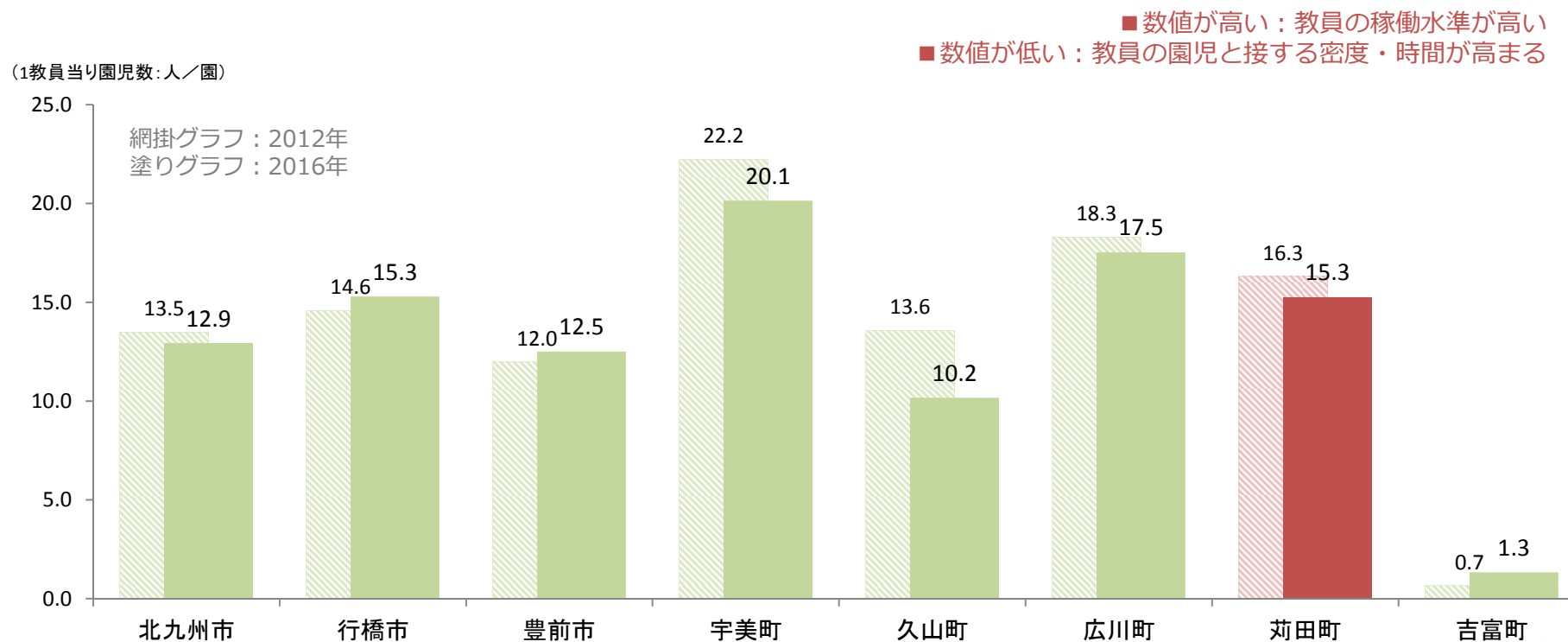


資料) 文部科学省「学校基本調査」

(1)教育 ①幼稚園 教員当り園児数

- ❖ 苅田町は、8団体中3番目と高水準に位置している
- ❖ 宇美町、吉富町を除くと、水準の差は小さい

1 教員当り園児数 (2012年/2016年)



資料) 文部科学省「学校基本調査」

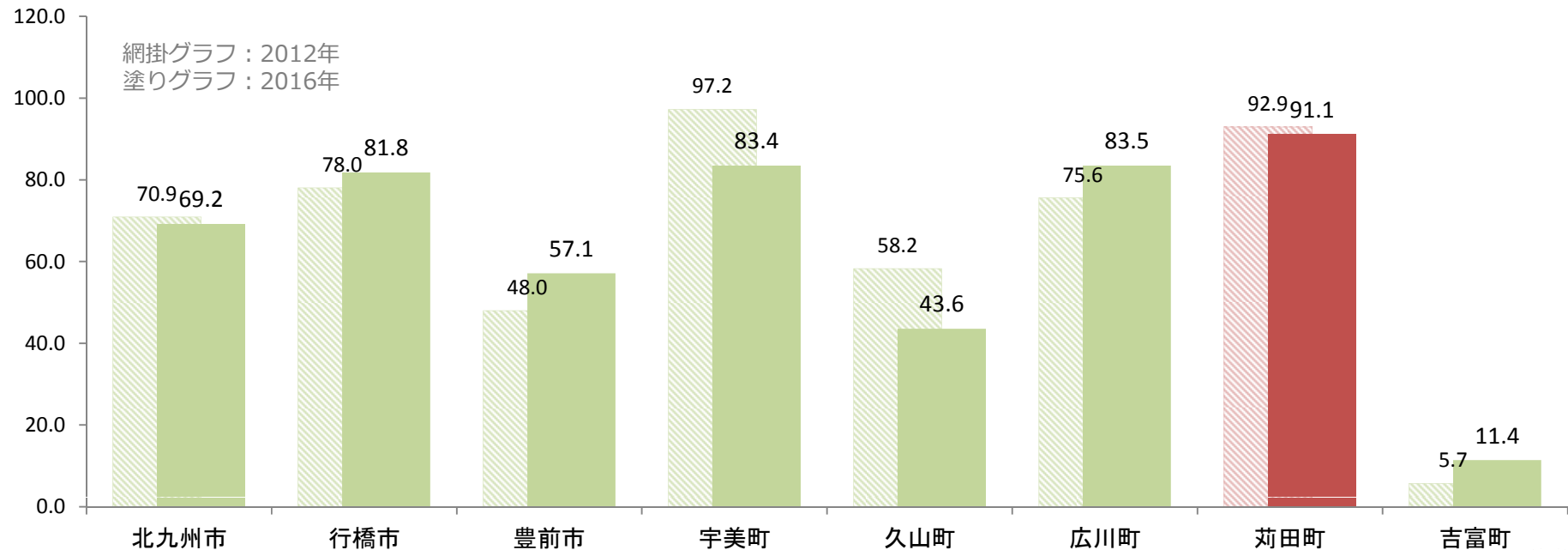
(1)教育 ①幼稚園 許可定員数の充足度

❖ 苅田町は91.1%と、他の自治体に比べて幼稚園の稼働状況は良好である

許可定員数に占める園児数の割合 (2012年/2016年)

■ 数値が高い：対象人口に対する充足度合いが高い

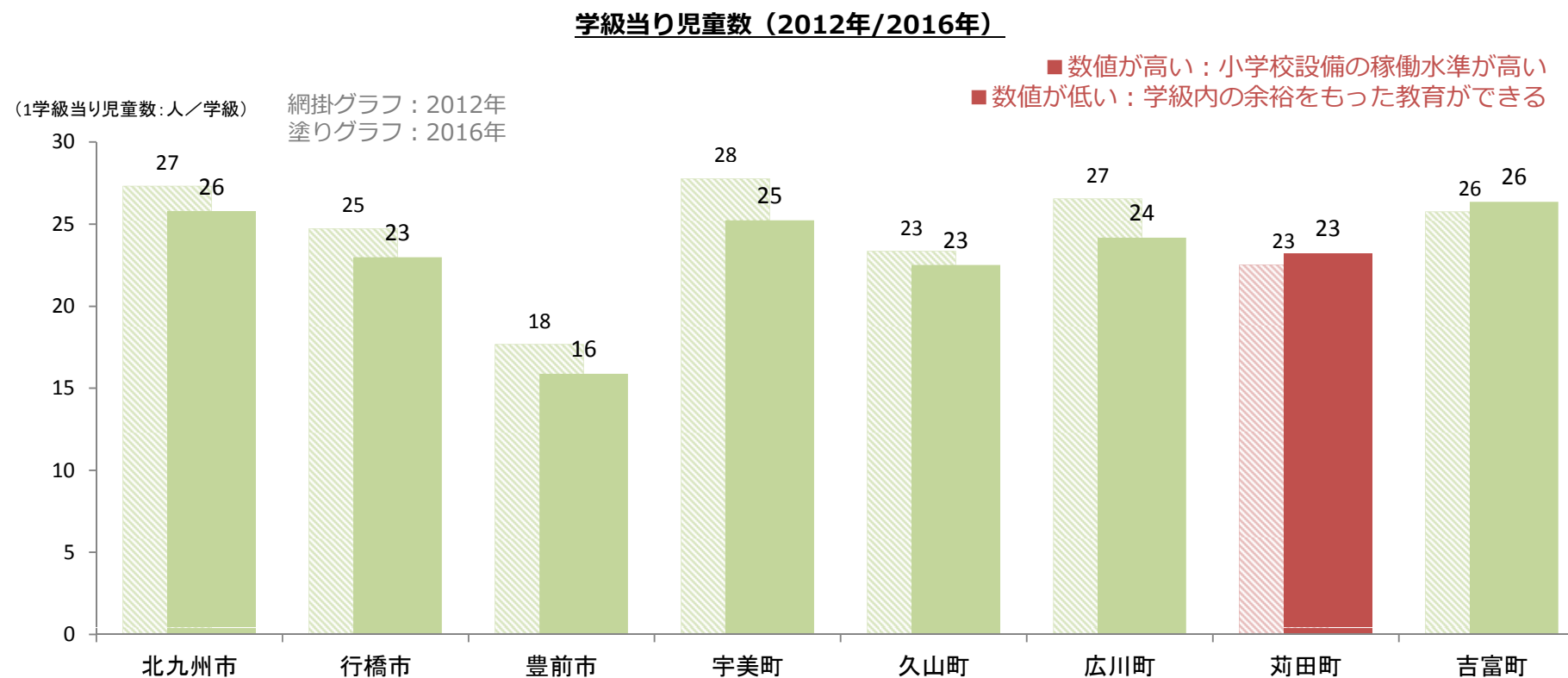
(許可定員数に占める園児数の割合：%)



資料) 文部科学省「学校基本調査」

(1)教育 ②小学校 学級当り児童数

❖ 豊前市を除き、概ね23～26名程度の児童数となっている

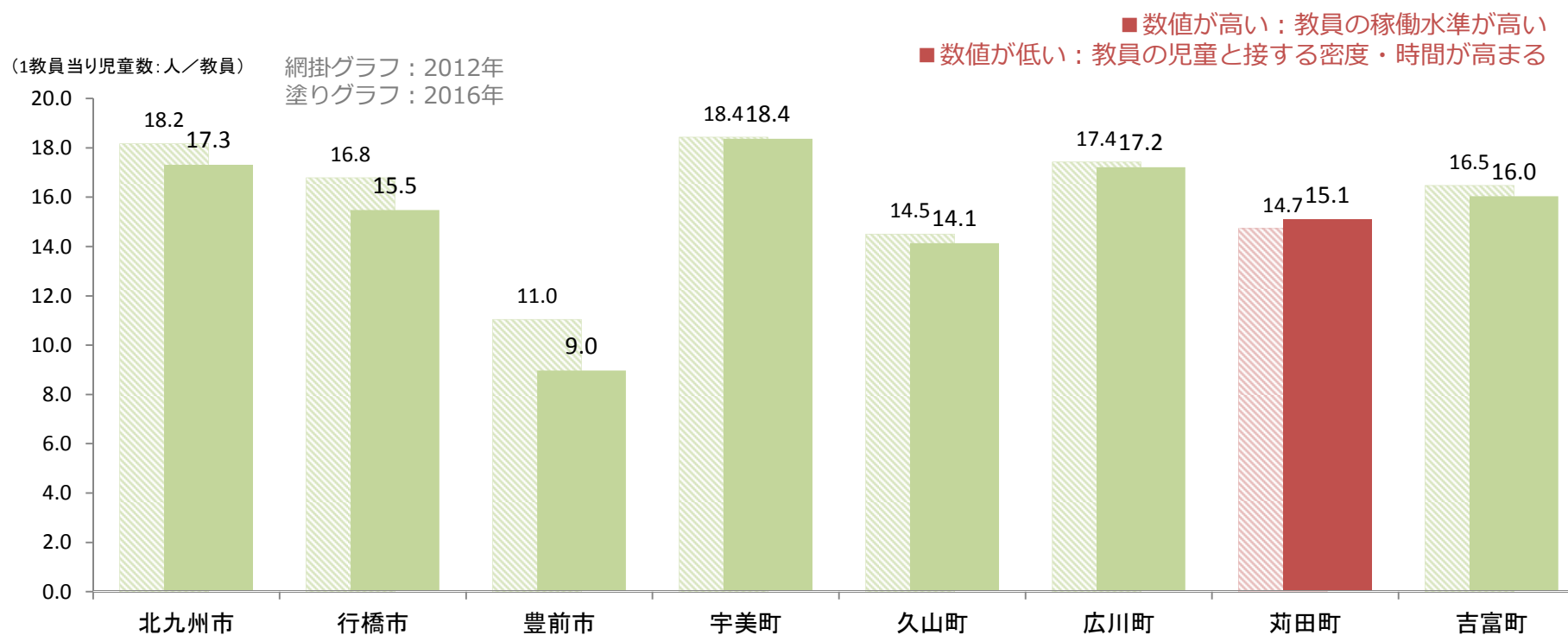


資料) 文部科学省「学校基本調査」

(1)教育 ②小学校 教員当り児童数

- ❖ 苅田町は、8団体中6番目と、他の自治体に比べて教員一人当り児童数が若干低い状況にある

教員当り児童数（2012年/2016年）

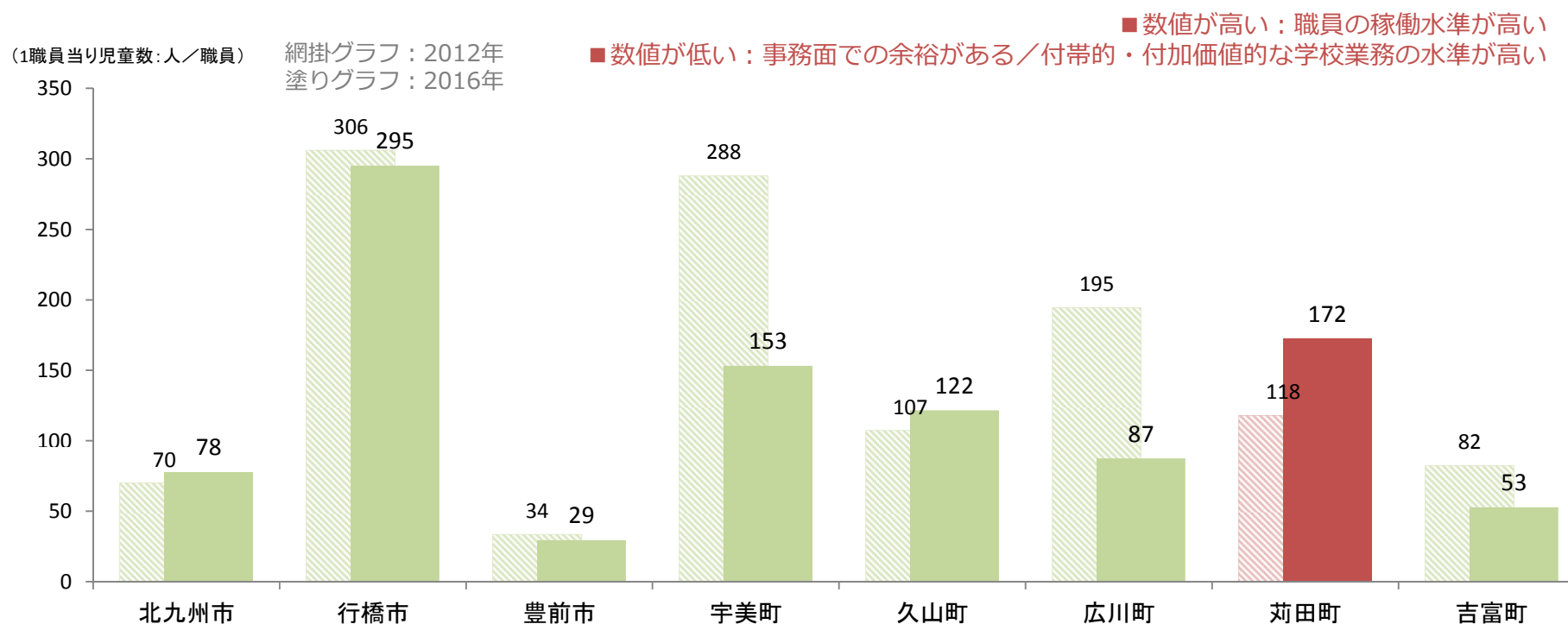


資料) 文部科学省「学校基本調査」

(1)教育 ②小学校 職員当り児童数

- ❖ 苅田町は、8団体中2番目と高い水準にある。
- ❖ 団体によってバラツキが大きい。

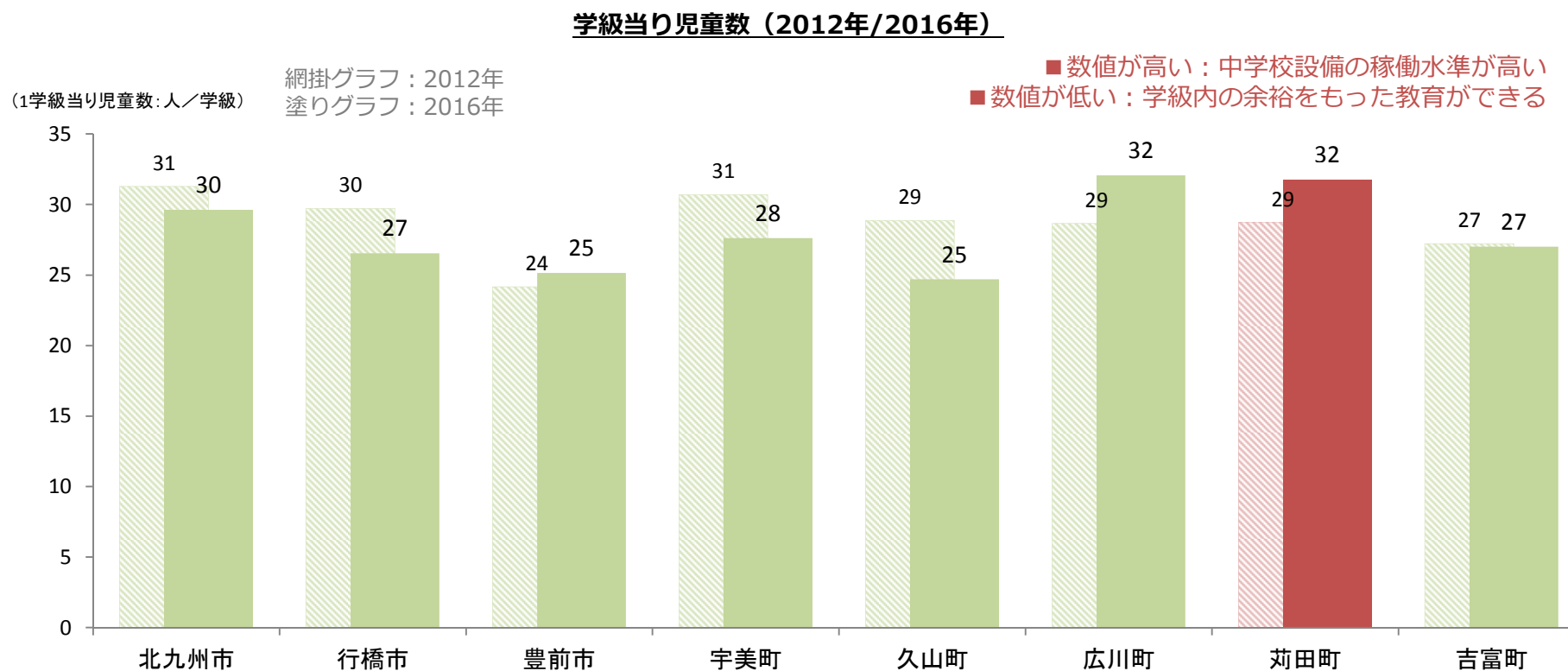
職員当り児童数（2012年/2016年）



注) 「職員」とは、事務職員、学校図書館事務員、養護教員、学校栄養職員、学校給食調理従事員、用務員などを指す
資料) 文部科学省「学校基本調査」

(1)教育 ③中学校 学級当り児童数

❖ 苅田町は、8団体中最も高い水準にあるが、団体間の乖離は小さい。

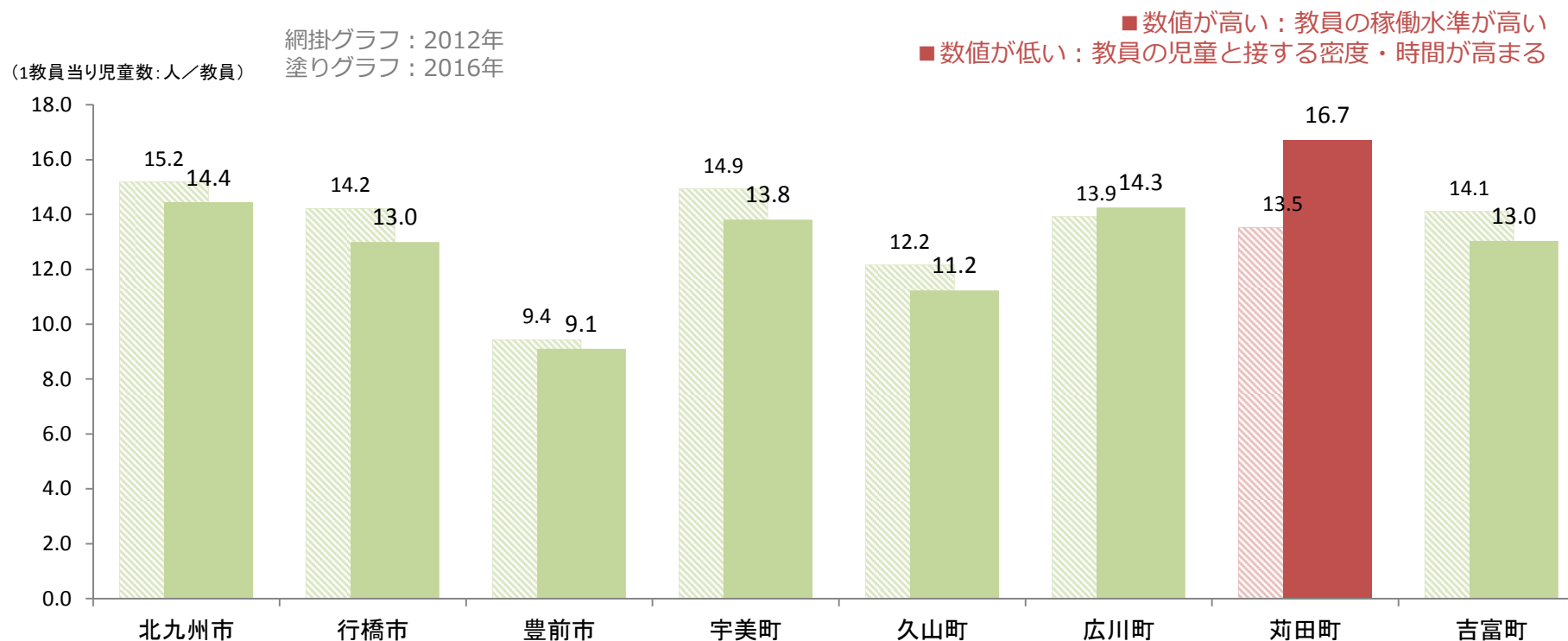


資料) 文部科学省「学校基本調査」

(1)教育 ③中学校 教員当り児童数

❖ 苅田町の、8団体中最も高く、教員の稼働水準が最も高い

教員当り児童数（2012年/2016年）

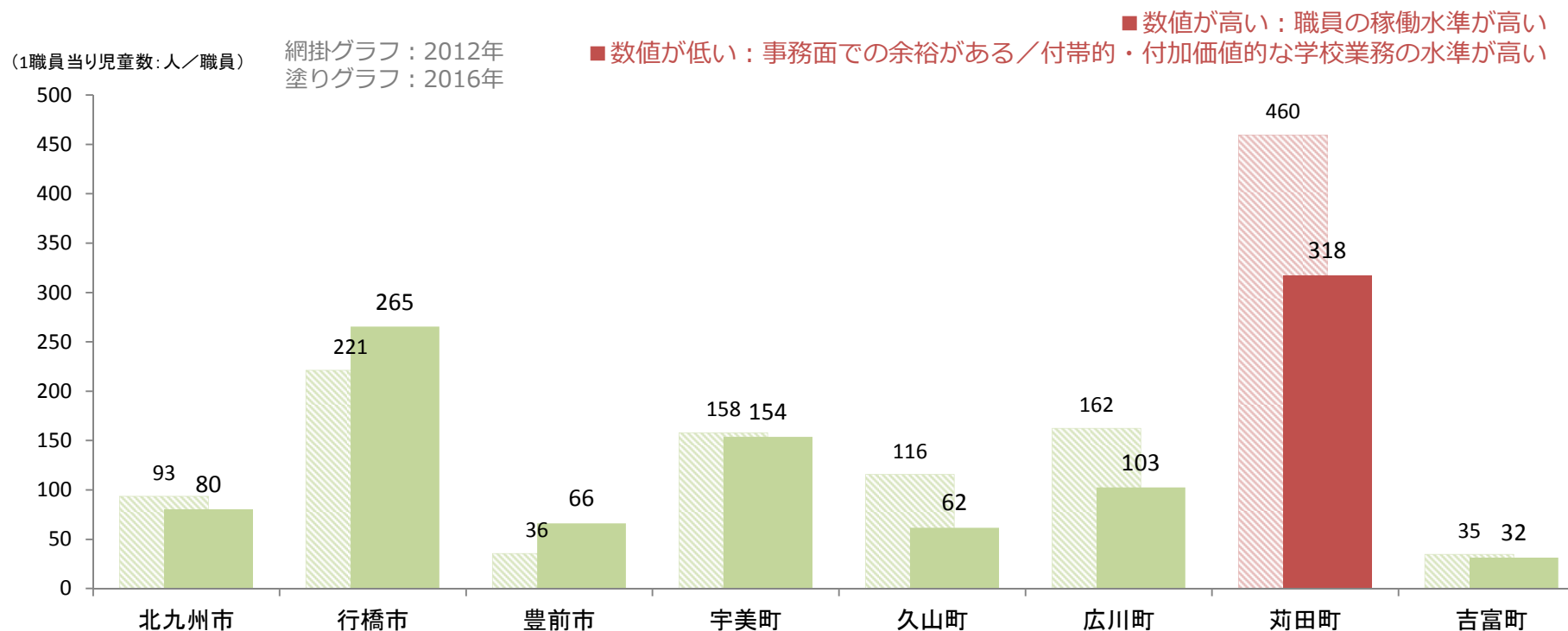


資料) 文部科学省「学校基本調査」

(1)教育 ③中学校 職員当り児童数

- ❖ 苅田町は、8団体中最も高く、職員に関しても最も稼働水準が高い
- ❖ 同項目は、団体間でバラツキが大きい

職員当り児童数（2012年/2016年）



注) 「職員」とは、事務職員、学校図書館事務員、養護教員、学校栄養職員、学校給食調理従事員、用務員などを指す
資料) 文部科学省「学校基本調査」

(1)教育 ④高校・専門学校・大学

❖ 市町村立の高校・専門学校・大学については、北九州市のみで設置されている

■高等学校

- ◆ 北九州市立高等学校

■専修学校・各種学校

- ◆ 北九州市立看護専門学校
- ◆ 北九州市立戸畑高等専修学校
- ◆ 北九州市立高等理容美容学校

■大学・大学院

- ◆ 北九州市立大学

(1) 教育 ⑤給食事業

- ❖ 給食事業については、8団体中委託方式としているところは4カ所（一部委託も含む）

自治体名	内容
北九州市	直営 (小学校は自校調理、中学校は共同調理)
行橋市	直営 (1センター制)
豊前市	委託
宇美町	直営＋委託 (小学校は自校調理、中学校は校外調理委託方式による選択制弁当給食)
久山町	委託
広川町	委託
苅田町	直営
吉富町	直営

資料) 各市町村ホームページなどより作成

(2)生涯学習・スポーツ ①公民館 公民館数

❖ 苅田町の公民館数は、コミュニティセンター1館も含んで4館。

自治体名	内容
北九州市	市民センター129館 市民サブセンター6館
行橋市	12館
豊前市	12館
宇美町	1館
久山町	1館
広川町	4館
苅田町	4館 (コミュニティセンター含む)
吉富町	1館

資料) 各市町村ホームページなどより作成

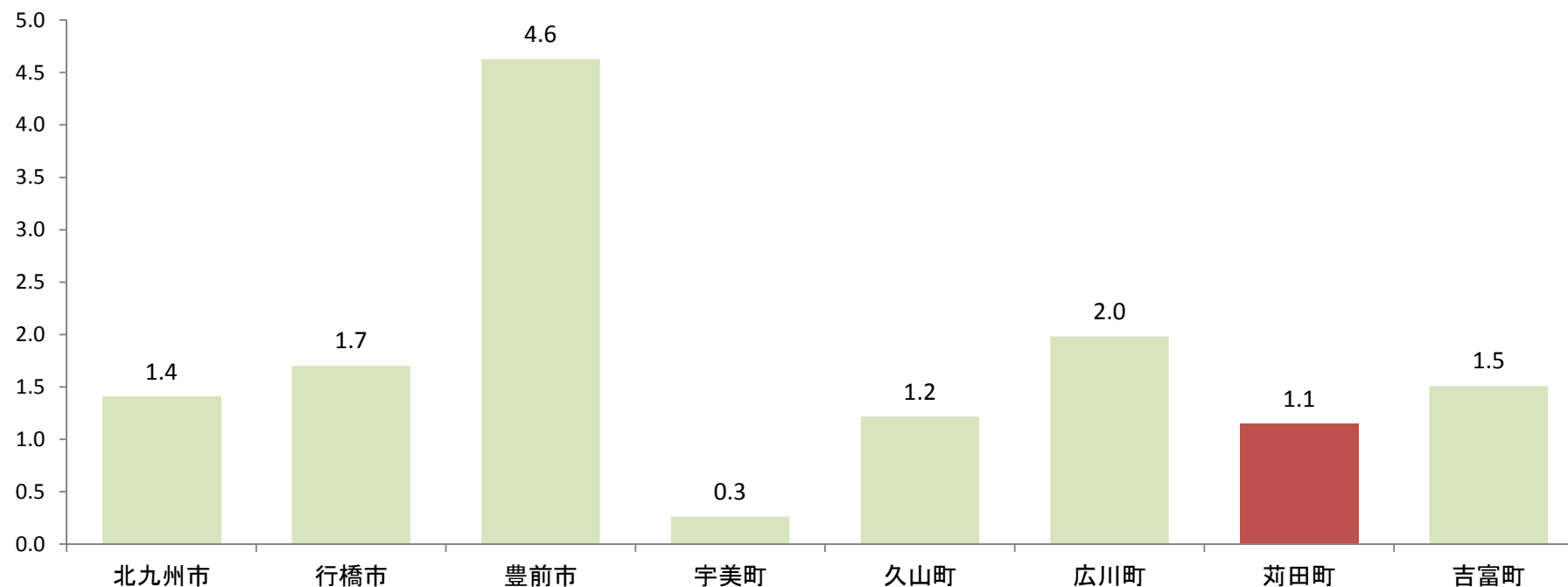
(2)生涯学習・スポーツ ①公民館 人口あたり館数

❖ 苅田町は、8団体中7番目と低水準にある

人口1万人当り公民館数（2016年）

（人口1万人当り公民館数：館／万人）

■ 数値が高い：人口あたり公民館設置数が多い



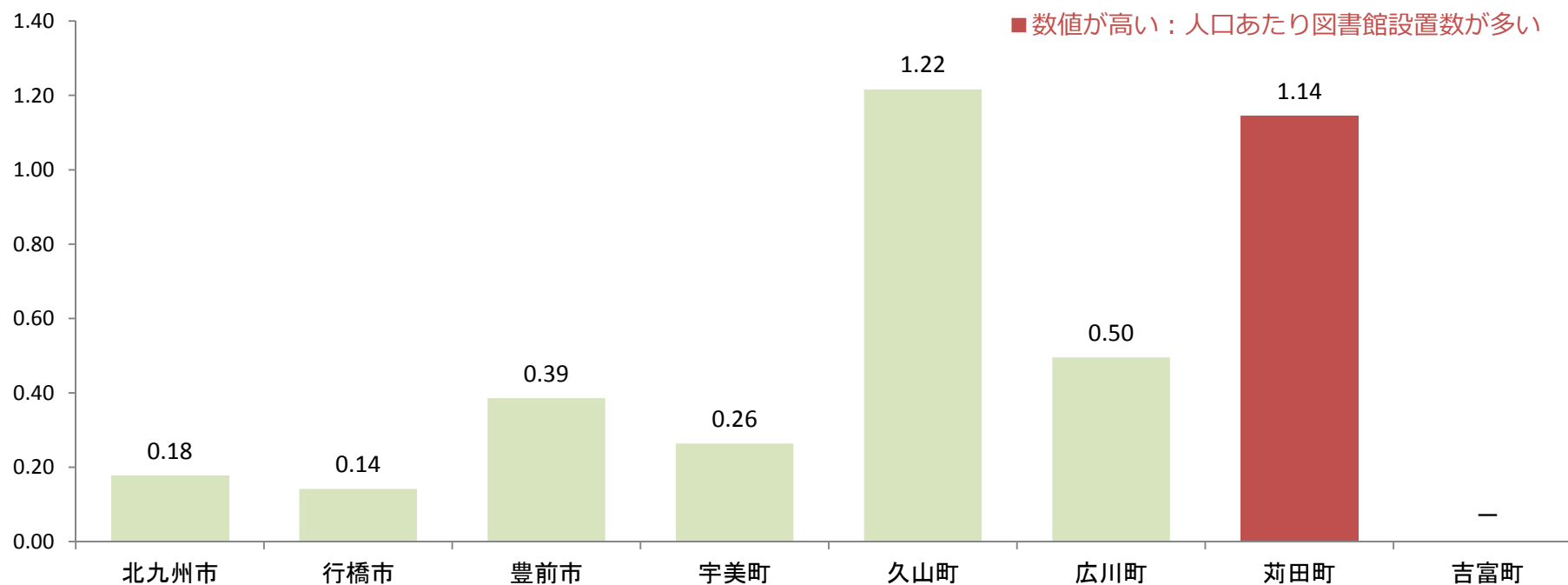
資料) 各市町村ホームページなどより作成

(2) 生涯学習・スポーツ ②図書館 人口あたり館数

- ❖ 苅田町は、8団体中2番目と人口当りの設置数が大きい
- ❖ 同項目では、他の自治体とのバラツキが大きい

人口1万人当り図書館数（2014年）

（人口1万人当り図書館数：館／万人）



■ 数値が高い：人口あたり図書館設置数が多い

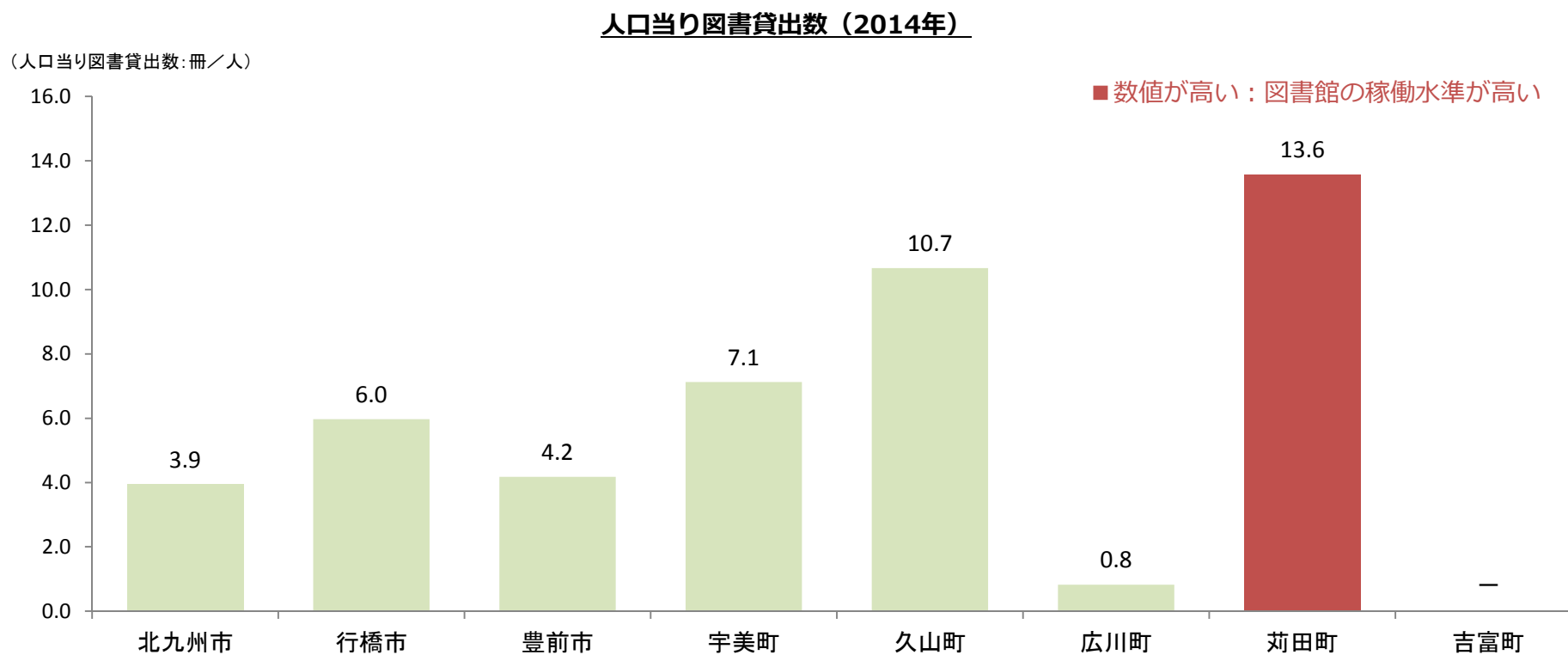
注) 1. 単独施設の数ではなく、公民館等と合築されている場合もあるため留意が必要

2. 吉富町には2016年12月時点で、図書室があることを確認できるが、2014年時点の統計では未計上となっている

資料) 福岡県「福岡県教育要覧」

(2) 生涯学習・スポーツ ②図書館 図書貸出数

❖ 苅田町は、8団体中最も高く、図書館の稼働水準が高い



注) 吉富町には2016年12月時点で、図書室があることを確認できるが、統計では未計上
資料) 福岡県「福岡県教育要覧」

(2) 生涯学習・スポーツ ③社会体育施設

各自治体の社会体育施設

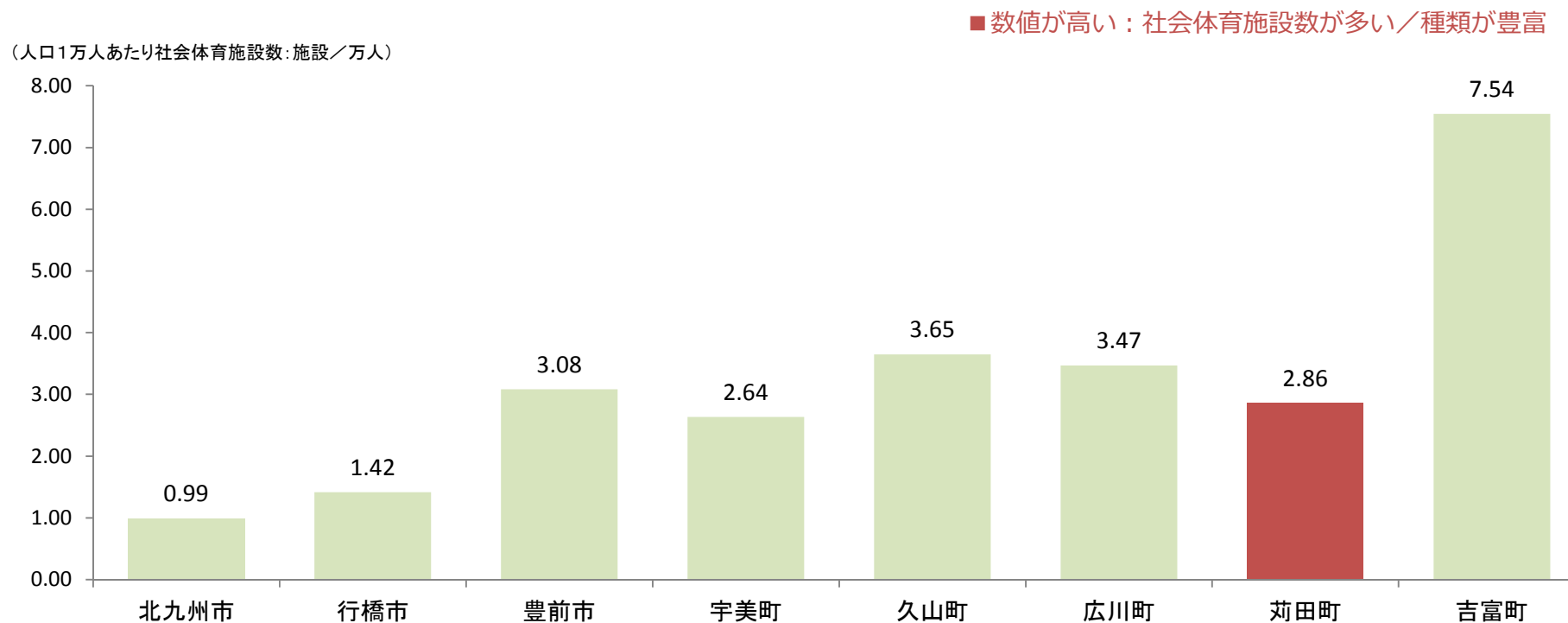
	総数	体育館	陸上 競技場	運動場 球技場	弓道場	柔剣道場	庭球場	プール	野球場	サイクリ ング	艇庫
北九州市	95	17	3	9	7	9	15	21	12	2	0
行橋市	10	1	0	4	1	1	2	1	0	0	0
豊前市	8	1	0	2	1	1	1	1	0	1	0
宇美町	10	2	1	4	0	1	1	0	1	0	0
久山町	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0
広川町	7	2	0	2	0	0	1	1	0	0	1
苅田町	10	1	0	1	0	1	4	1	2	0	0
吉富町	5	1	0	2	0	1	0	1	0	0	0

各市町村ホームページなどより作成

(2)生涯学習・スポーツ ③社会体育施設 人口当り施設数

- ❖ 苅田町は、8団体中5番目。
- ❖ 吉富町は、人口規模に比して多くの社会体育施設を設置している

人口1万人当り社会体育施設数



資料) 各市町村ホームページなどより作成

(3) 産業振興 ① 企業誘致制度

- ❖ 苅田町では、企業誘致制度として立地企業に対する補助金制度を有する。
- ❖ 町で税優遇制度を有しているのは、吉富町のみ。

企業誘致に関する補助・税優遇制度の有無

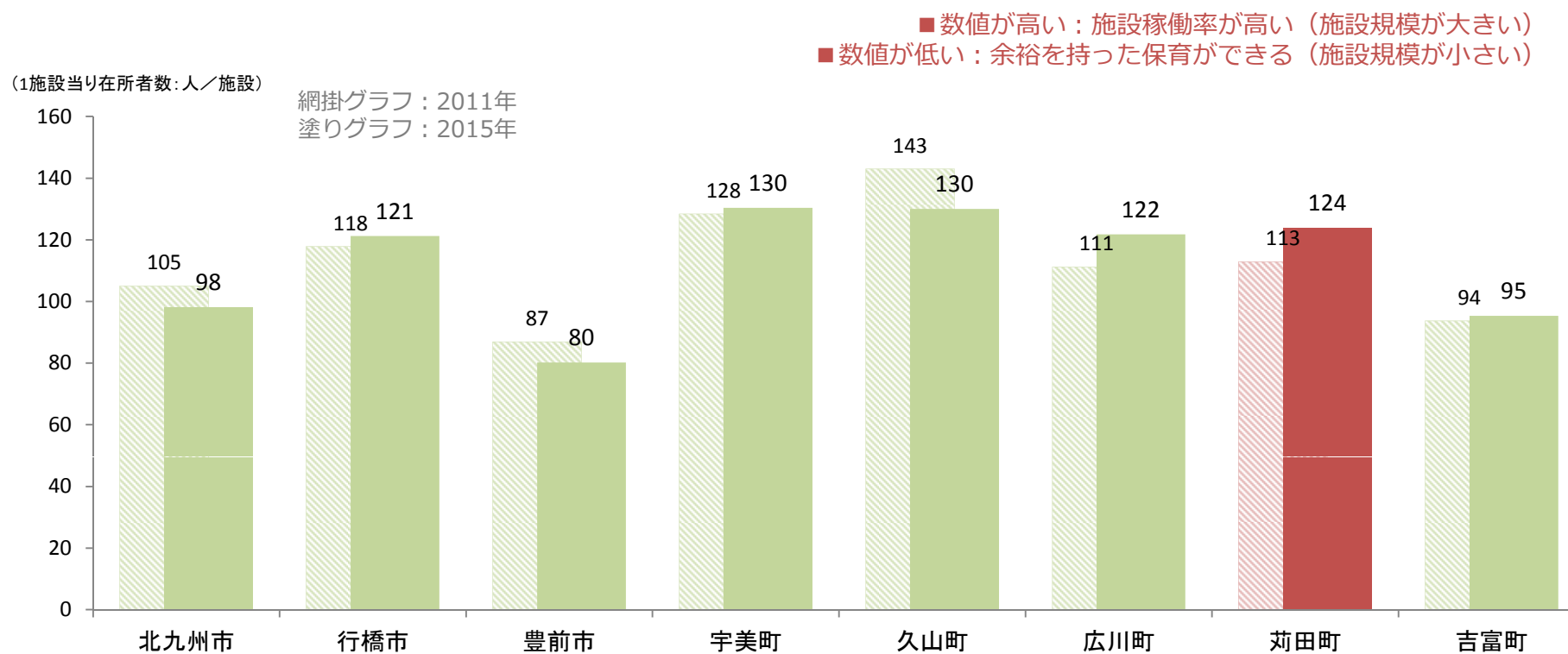
	補助制度	税優遇制度
北九州市	○	○
行橋市	○	○
豊前市	○	○
宇美町		
久山町		
広川町	○	
苅田町	○	
吉富町	○	○

資料) 福岡県企業立地情報ホームページより

(4)子育て ①保育所 1施設あたり在所要者数

❖ 苅田町は、8団体中3番目と高水準に位置する。

1施設あたり在所要者数（2011年/2015年）

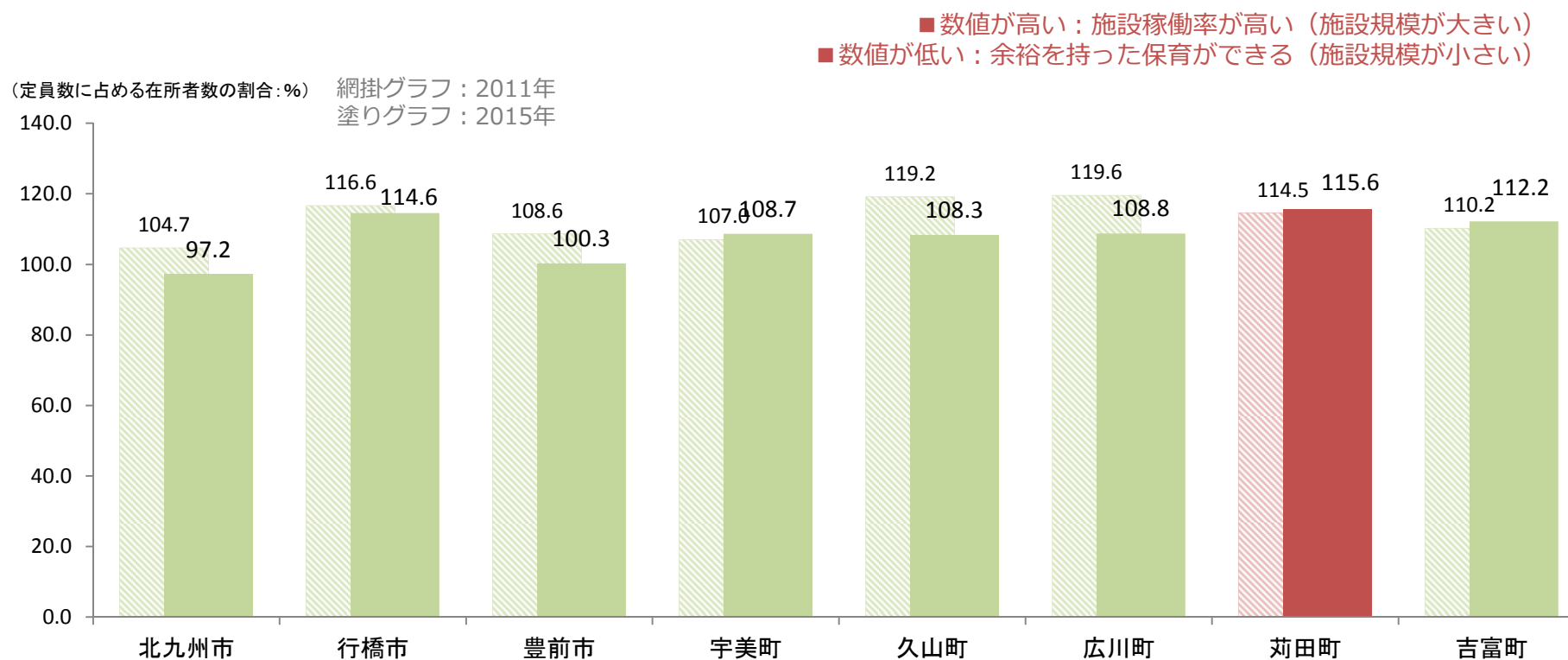


資料) 厚生労働省「社会福祉等施設調査」

(4)子育て ①保育所 定員数の充足度

- ❖ 苅田町は、8団体中最も高水準である。
- ❖ 北九州市を除き、定員数を上回る在籍者数が入所している状況にある。

定員数に占める在籍者数の割合（2012年/2015年）

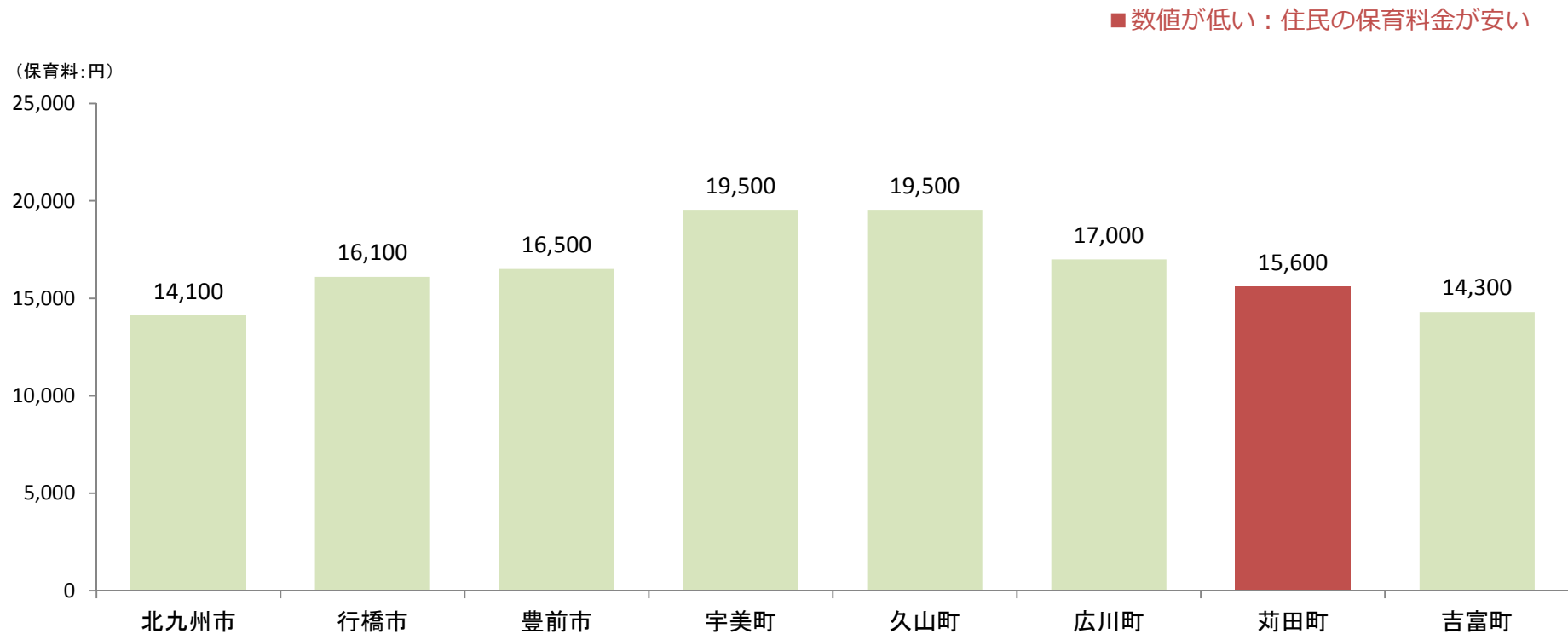


資料) 厚生労働省「社会福祉等施設調査」

(4)子育て ①保育所 保育料

❖ 苅田町は、8団体中6番目と、低い水準に位置する。

認可保育園の月額保育料（2016年度）



注) 保育料額の基準は、保育標準時間、3歳未満、保育認定3号認定、所得割額48,600円未満
資料) 各市町村ホームページより

(4)子育て ②子ども医療費

- ❖ 入院に関しては、無料か自己負担上限500円と団体間で類似している
- ❖ 通院に関しては、苅田町は自己負担医療費が低いグループに位置する

各自治体の子ども医療費支給事業（2016年度）

	入院				通院			
	助成期限	就学前	小学生	中学生	助成期限	就学前	小学生	中学生
北九州市	中学生	無料	無料	無料	小学生	600円	1,200円	
行橋市	中学生	500円	500円	500円	中学生	600円	600円	600円
豊前市	中学生	無料	無料	無料	中学生	無料	800円	800円
宇美町	中学生	500円	500円	500円	小学生	800円	1,200円	
久山町	中学生	500円	500円	500円	小学生	800円	1,200円	
広川町	中学生	無料	無料	無料	小学生	無料	1,200円	
苅田町	中学生	500円	500円	500円	中学生	600円	600円	600円
吉富町	中学生	無料	無料	無料	中学生	無料	800円	800円

資料) 福岡県「平成28年度子ども医療費支給事業 市町村制度状況一覧」

(4)子育て ③子育て支援等の制度

	特定不妊治療費助成事業	妊婦検診費用補助	出産祝金制度	赤ちゃん訪問	児童手当	子育て支援センター	ファミリーサポートセンター	託児サービス	休日保育	病児一時預かり事業
北九州市	○	○		○	○	○	○	○	○	○
行橋市		○		○	○	○		○		○
豊前市	○	○	○	○	○	○	○	○		
宇美町		○		○	○	○	○	○		○
久山町		○		○	○	○		○		○
広川町	○	○		○	○	○				○
苅田町		△1		○	○	○		○		○
吉富町	○	○		○	○	○				

注) △1 : 里帰り妊婦健康診査費用補助
資料) 福岡県「福岡県移住・定住ポータルサイト」

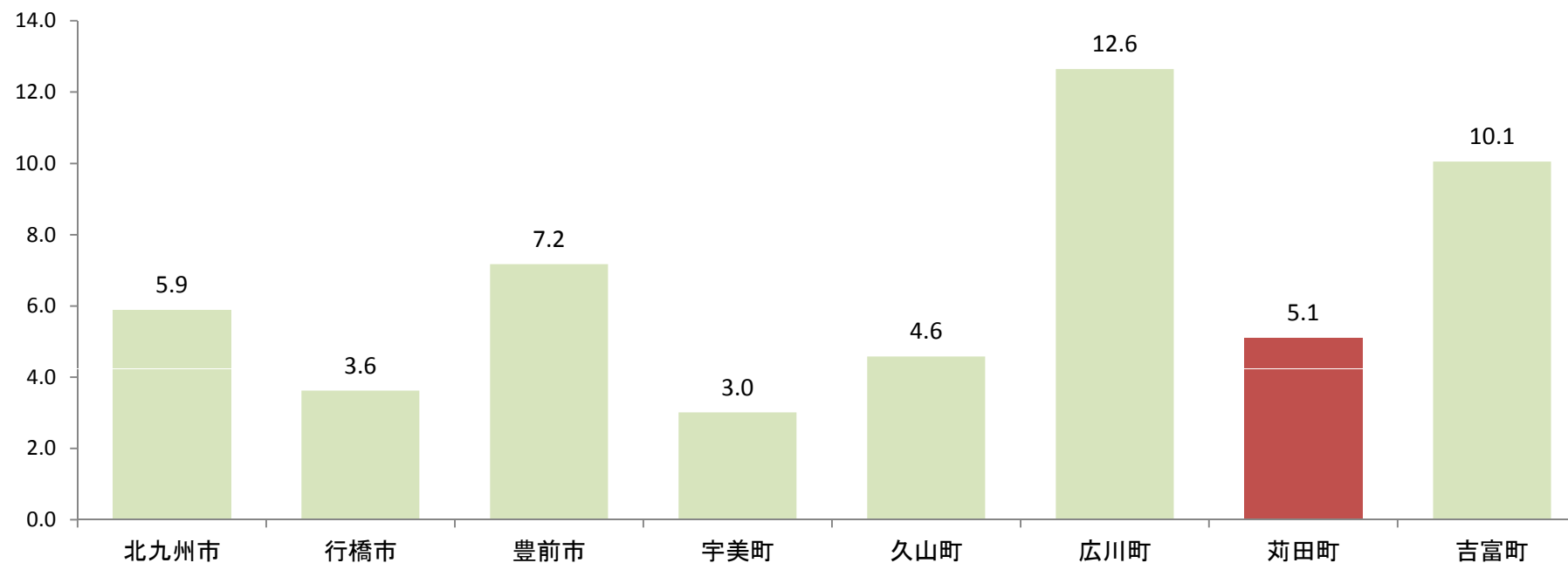
(5) 高齢者福祉 ①介護保健施設

❖ 苅田町は、8団体中5番目と中水準に位置する。

75歳以上人口に占める定員数の割合（2015年）

■ 数値が高い：施設整備水準が高い

(75歳以上人口に占める定員数割合：%)



資料) 厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」

(7) 消防 ① 消防署

- ❖ 苅田町は、町のなかでは唯一単独で消防署を設置している。

消防署の運営状況（2016年）

北九州市	単独
行橋市	単独
豊前市	広域 (京築)
宇美町	広域 (糟屋南部)
久山町	広域 (糟屋南部)
広川町	広域 (八女地区)
苅田町	単独
吉富町	広域 (京築)

資料) 福岡県「福岡県消防年報」

(8) 生活基盤 ①コミュニティバス

- ❖ 行橋市を除いて、7つの団体にコミュニティバス(もしくは循環タクシー)を運行させている。

コミュニティバスの有無と料金

	コミュニティバスの有無	利用料金
北九州市	○	150～600円
行橋市		
豊前市	○	100～230円
宇美町	○	無料
久山町	○	100円
広川町	△1	400円(町内)
苅田町	○	200円
吉富町	○	100円

注) △1: ひろかわふれあいタクシー
資料) 各市町村ホームページより

(8)生活基盤 ②ごみ

- ❖ 苅田町は、8団体中唯一、家庭ゴミのごみ袋を無料で提供している。

ごみ料金

	サイズ	袋1枚当り料金
北九州市	大 (45ℓ)	50円
行橋市	大 (45ℓ)	62円
豊前市	大 (サイズ不明)	24円
宇美町	大 (サイズ不明)	50円
久山町	大 (サイズ不明)	105円
広川町	大 (サイズ不明)	30円
苅田町	—	無料
吉富町	大 (サイズ不明)	13円

注) 可燃家庭ゴミ・サイズ最大のもの (金額は、小数点以下四捨五入)
資料) 市町村ホームページ

補足：扶助費の増加要因について

菟田町の扶助費について

- ❖ 行政サービスの検討にあたっては、将来の大幅な歳出増が予想される扶助費について、その要因分析をする必要がある。
- ❖ 分野別指標とは別に、扶助費の増加要因について分析する

扶助費の種類

補助事業

- 地方自治体の事業のうち、国の行政機関から委任されて実施される公共事業
- 主に国庫から支出される補助金が財源。事業費の一部を負担(全額補助ではない)

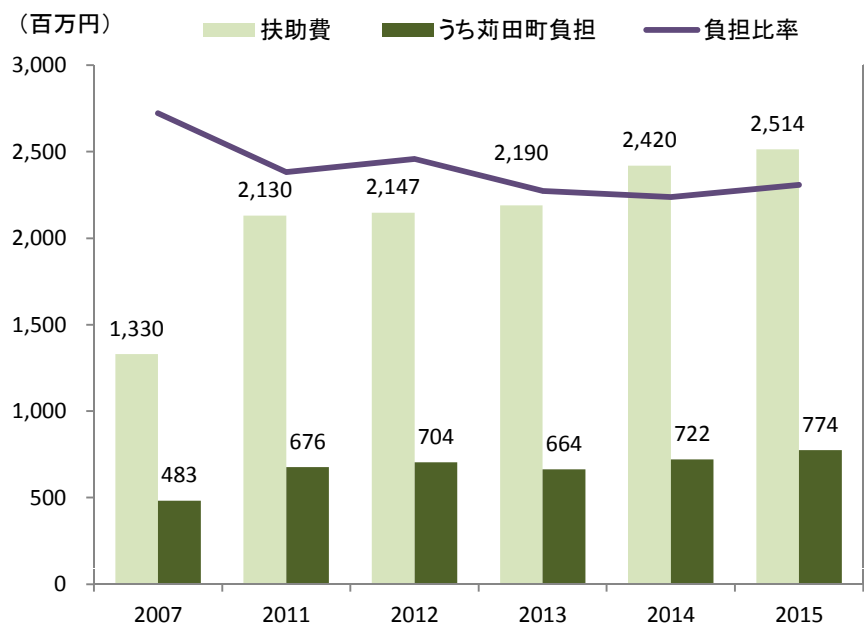
単独事業

- 租税収入を中心とする地方公共団体独自の財源で実施する公共事業
- 使い道は各公共団体に任される(余裕がない自治体では実施困難)

苧田町の扶助費内訳の推移

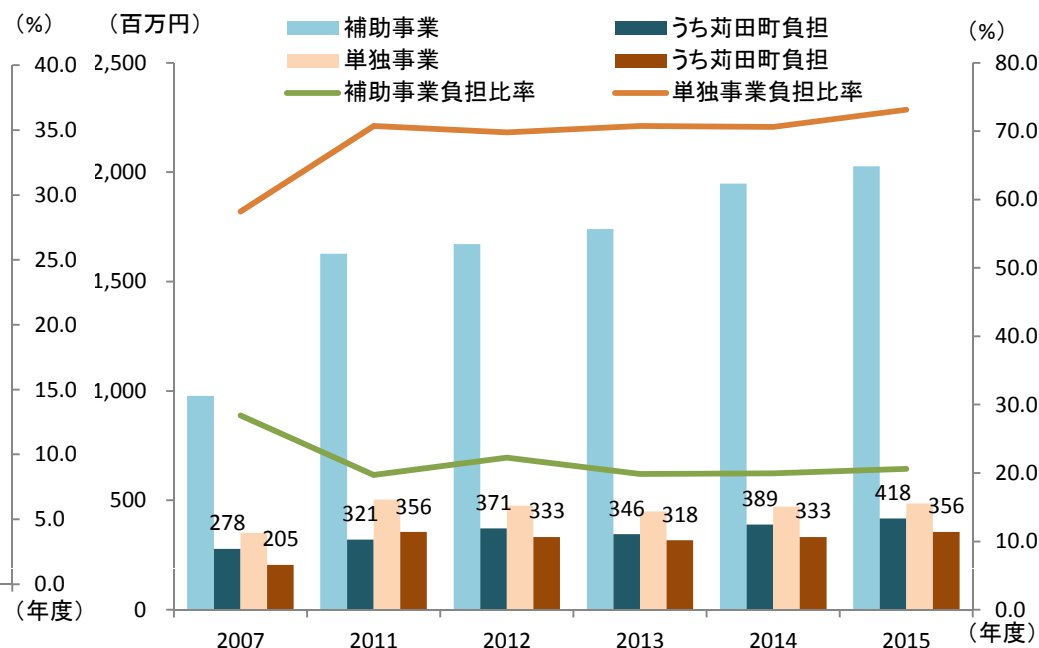
- ❖ 扶助費全体は増加傾向。2015年度は2017年度の倍近く
 - ◆ 苧田町の負担額も4.8億円(2007年)→7.7億円(2015年)
- ❖ 補助事業は増加中、単独事業は5億円弱を維持
 - ◆ 補助事業負担比率は約20%を維持するも、2015年度の負担は4億超え
 - ◆ 単独事業負担比率はやや増、負担額も過去3年は再び増加に転ずる

扶助費と苧田町負担分、苧田町負担比率の推移



資料) 苧田町提供資料より九経調作成

補助事業と単独事業の苧田町負担分、負担比率の推移



過去9年間(2007~2015年度)における扶助費の増加要因

- ❖ 基本的に「2015-2007」が高い事業が、増加要因となる
- ❖ 1) 単年度の事業費が多い補助事業
 - ◆ 9年累計の事業費も多い、苅田町の扶助費の中では大きな事業
 - ◆ 児童手当、自立支援給付金(障害福祉サービス)、私立保育園委託料
- ❖ 2) 2007年から2015年の間に新たに発生した事業
 - ◆ 「2015年度事業費」と「2015-2007」が同額の事業
 - ◆ 事業費は多くが、数としては多い
 - 補助事業: 障害児通所給付金、臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金
 - 単独事業: 私立保育園委託料(単独事業分)、子ども医療費等拡大分、介護予防元気アップサロン事業委託料、児童手当(職員)、緊急通報システム整備事業取付料、在宅生活支援訪問サービス事業委託料、成年後見制度事業
 - ◆ 2015年度の扶助費の13.2%(約3.3億円)を占める
 - 補助事業: 5.5%(約1.4億円)
 - 単独事業: 7.7%(約1.9億円)

扶助費の内訳(2015年度事業費、差額、9年累計)

(単位:千円)					
事業名	備考	性質別 区分名称	2015年度 事業費	2015-2007	9年累計
児童手当		補助事業	701,060	416,750	4,469,156
自立支援給付費(障害福祉サービス)		補助事業	504,660	328,109	2,933,700
私立保育園委託料		(補助+単独)	660,166	215,756	4,568,420
うち補助事業	保育園に保育事業を委託	補助事業	593,036	148,626	
うち単独事業	保護者負担の2割分を町が負担	単独事業	67,130	67,130	
障害児通所給付費		補助事業	91,798	91,798	266,412
子ども医療費等拡大分		単独事業	68,056	68,056	511,864
臨時福祉給付金		補助事業	31,800	31,800	99,445
介護予防元気アップサロン事業委託料	地域支援事業(任意)	単独事業	28,204	28,204	196,499
児童手当(職員に係る児童手当)		単独事業	19,560	19,560	113,132
子育て世帯臨時特例給付金		補助事業	15,555	15,555	59,375
自立支援医療費		補助事業	46,232	8,205	453,301
相談支援事業委託料	地域生活支援事業(必須)交付税措置	補助事業	6,692	5,792	51,406
緊急通報システム整備事業取付料	地域支援事業(任意)	単独事業	5,075	5,075	39,315
日常生活用具給付等事業	地域生活支援事業(必須)	補助事業	6,936	3,521	42,170
長寿祝金		単独事業	12,460	3,354	99,236
在宅生活支援訪問サービス事業委託料	地域支援事業(任意)	単独事業	2,638	2,638	28,515
成年後見制度事業	地域生活支援事業(必須)	単独事業	2,340	2,340	2,340
地域活動支援センター事業委託料	地域生活支援事業(必須)	補助事業	13,083	2,187	105,544
日中一時支援事業委託料	地域生活支援事業(任意)	補助事業	3,508	2,040	20,762
就学援助費(学用品費)		単独事業	4,484	1,393	34,047
福祉タクシー事業		単独事業	3,720	1,192	33,291
＜備考:その他単年度の事業費が1億円を超える事業＞					
重度障害者医療費		単独事業	109,806	▲ 13,429	1,020,767
乳幼児医療費		単独事業	81,733	▲ 1,887	1,294,639
ひとり親家庭等医療費		単独事業	25,599	▲ 17,486	248,810
老人ホーム入所措置費		単独事業	23,077	▲ 10,220	235,149
注)全て扶助費として計上					
資料) 苅田町資料より九経調作成					